

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第22号
令和4年11月21日

「後期中間考査に向けて」

明日 22 日（火）には、二十四節気という「小雪」に入ります。少しずつ雪が降り始め、冬の寒さが本格的に入る意味を持ちます。

11 日（金）の産業社会と人間の授業では、東北芸術工科大学 デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 教授 柚木泰彦先生を本校にお呼びし、講演をいただきました。今月 25（金）から始まる探究型学習に向けて、協働して研究活動を行う上での基礎的な方法を学びましたが、柚木先生から提示された課題に対し、グループで積極的に意見を交換し合う姿勢が見られました。その成果をぜひ、今後の活動に生かして欲しいと思います。

さて、後期中間考査まで約 10 日となりました。この時期に大切にしたいことを 3 つ話をします。よく読んで、実践に移してください。

1 各科目の試験範囲の中で、理解不足な部分を把握し、早急に解決すること。

第 21 号の年次通信でもふれましたが、各科目の試験範囲で理解不足の部分があれば、1 人 1 台端末を活用して自分で調べたり、教科担任の先生に質問に行くよう心がけてください。

なお、取り組みにあたっては、早めに行うことです。試験直前になっても理解不足の部分を残していれば、全ての科目の学習の進度に影響が出ます。

余裕を持って学習するためにも、ぜひ本日から実行してください。

2 教育支援ソフトを活用した学習記録を日々欠かさずに行うこと。

10 日（木）のホームルーム活動の時間、学級担任の先生から教育支援ソフトへの学習記録への入力方法について説明をいただきました。

日々の学習内容、反省を必ずその日のうちに生徒 1 人 1 台端末をとおして、入力するようにしてください。

記録を習慣化していくことで、自然と自身の毎日の学習に明確な目的が生まれます。また、各科目の考査の結果と合わせて見ていくことで、自己の学習を振り返り、改善していく手立てにもなります。ぜひこの点を心に留めてください。

3 試験本番に向けて、自身のコンディションを整えていくこと。

新型コロナウイルス感染症への感染の危険性に加え、寒さも本格化していくことから、インフルエンザや風邪等も心配される時期にはあります。日々の学習、食事や睡眠等、様々な面に気を配り、試験本番に向けて、心身両面から自身のコンディションを整えていくようにしていきましょう。

年次主任